



謹賀新年

2026



令和8年正月
医療法人徳洲会
札幌東徳洲会病院
病院長 山崎誠治

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

皆様におきましては平素より多大なるご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年2025年は、大阪・関西万博の開幕、女性初の総理大臣誕生など印象的な出来事がありました。一方で、医療界は「2025年問題」が本格化し、経営が悪化する医療機関が増加するなど、厳しい状況におかれました。

当院では、こうした状況下でも、地域の皆様が安心して医療を受けられるよう、スタッフ一同、邁進してまいりました。

昨年は、ハイブリッドERとスーパーICUが本格稼働し、医療の質を一層高めることができました。加えて、生成AIを診療に導入し、医療DXを加速させ、業務の効率化と負担軽減に成果を挙げました。

さて、2026年の干支は丙午（ひのえうま）。丙は「陽の性質」、午は「力強く、前進する」という意味を持ち、物事が力強く進展する年です。

当院も地域の皆さんに支えられ、2月に開院40周年を迎えるにあたり、これからも「ことわらない医療」「いつでも、どこでも、誰でもが最善の医療を受けられる社会」を実現すべく、地域社会と連携した「骨太」の医療体制を築いていく所存です。

本年が皆様にとりまして健康で実り多き一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。